

職員の事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和4年3月17日

事業所名 こども発達支援室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	1	・活動内容によって机の数や移動場所等の環境設定、また、スペースに合わせた課題を提供する等の工夫をしている。
	② 職員の配置数は適切であるか	4		・国で定められた基準に則って、適切な職員数を配置しています。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4		・子どもたちが分かりやすいように活動に応じてパーテーションを利用し、構造化しています。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか	4		・教室終了後には必ず清掃・消毒を行っています。 ・鬼ごっこの際は、危険な所にマットを貼る等、活動に合わせた環境設定を行っています。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画しているか	4		・業務に支障が生じた際には、職員間で話し合い、改善策を検討しています。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向などを把握し、業務改善につなげているか	4		・保護者からのご意見を聞かせて頂く中で、可能な限り教室内で対応させて頂きます。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4		・ホームページにて公開する予定です。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	3	・第三者による外部評価は行っていません。今後検討していきます。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4		・今年度はオンライン研修会に参加し、職員の資質向上に努めました。
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	4		・お子さんと保護者の方のニーズを踏まえて児童発達支援管理責任者がお子さんの課題を見極め、作成させて頂いています。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	1	・面談の際に、事業で統一されたアセスメントツールを使用しています。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4		・お子さんの育ちの環境を整えていくために、ガイドラインが示す“発達支援、家族支援、地域支援”をもとに児童発達支援管理責任者がお子さんの状態を把握し、支援内容を設定しています。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4		・児童発達支援計画をもとに活動内容を決め、1人ひとりの目標を達成出来るよう支援しています。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	4		・チーム全体で、お子さんが興味・関心を持てるような活動プログラムを設定しています。
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4		
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	4		・お子さんと保護者の方のニーズやお子さんの発達段階を把握し、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成しています。
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4		・支援開始前には、シミュレーションを行い、支援終了後には振り返りのカンファレンスを行っています。毎回、より良い支援が出来るようにしています。
	⑱ 支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4		
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4		・日々の療育記録をとり、支援の検証や改善につなげています。
⑳ 定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	3	1	・年に2回、児童発達支援計画の見直しを行い、保護者に直接説明しています。	
関	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4		・児童発達支援管理責任者が担当職員と会議を行っています。
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	3	1	・必要に応じて行っています。
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健・医療・障害福祉・保育・教育等の関係機関と連携した支援を行なっているか			・現在医療的ケア児はいません。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	②④	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			・現在医療的ケア児はいませんが、協力医療機関等と連絡体制は整えています。
	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報提供と相互理解を図っているか	2	2	・保護者の方のご希望に応じて行っています。
	②⑥	移行支援として小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	1	3	
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	1	・今年度は児童発達支援事業所が開催したオンライン研修会に参加しました。
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		4	・こちらで提供しているサービス内容の中ではそういった機会は設けていません。
	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		4	・管理者と相談支援専門員が子ども部会に参加しています。
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4		・教室後に、保護者の方とお子さんの様子について振り返り、お子さんの課題や今後の支援方法について確認を行っています。
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行なっているか	1	3	・母子療育のため、保護者向けのプログラムの提供は行っていません。個別の相談はその都度受け付けています。 ・個別指導では、保護者向けの家庭プログラムを行っています。
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4		・契約時に分かりやすく丁寧な説明を行うよう努めています。
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」びねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	4		・直接保護者に説明し、同意を得ています。
	③⑭	定期的に、保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行なっているか	4		・随時、相談がある保護者に対し、助言や支援を行っています。
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		4	・父母の会等の保護者会は開催しておりません。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4		・個別面談日の設定や、保護者の方からの相談の申し入れがあった場合には、電話やメールにて対応しています。
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4		・事業所の評価についてはホームページに掲載しています。
	③⑱	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	4		・十分に注意して取り扱いを行っています。
	③⑲	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4		・お子さんの気持ちの代弁や、視覚的支援ツールを使用することで意思の疎通を図れるようにしています。
	④①	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		4	・現在、計画していません。
	非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	3	1
④②		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4		
④③		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	3	1	・アセスメント等で確認しています。
④④		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3		・医師の指示書を提出する必要はありませんが、課題に応じて保護者との情報共有を行っています。
④⑤		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4		・ヒヤリハットの事案が生じた時は、報告書を作成し、事業所内で共有しています。
④⑥		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4		・虐待防止権利擁護の研修会に代表者が参加し、復命書を回覧することで、チーム全体で周知出来るよう努めています。
④⑦		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	4		・契約時に保護者の方に身体拘束についての説明を行い、同意を得ています。